

大津川緑地に桜を植樹

市民まちづくりワークショップ桜プロジェクトチーム主催の桜植樹祭が、3月17日午前10時に、大津川緑地(河川敷)で行われました。

当日は、3月半ばにもかかわらずまだまだ肌寒い中、約100人の参加がありました。桜プロジェクトのメンバーの挨拶、掛け声の中、参加者が力を合わせて桜の木に土を入れたり、大津川の水をバケツでかけたりと、みんなでいっしょに汗をかきながら、桜の植樹を行いました。

市では、市の都市計画を考える市民参画のワークショップを開催しています。そのなかで、市内にもっと自然を感じられる場所があるといいね、と言った声があり、大津川の河川敷を桜で飾れたらという思いを市民、市ともに持つようになりました。ただし河川法の規制があり、現実的には植樹が困難とあきらめかけていたのですが、河川管理をしている府の全面的な協力を得て、河川敷に

桜を植えることができました。この植樹をきっかけに、大津川を市民に親しみやすい、憩いの場とする取り組みを、市民、企業、市が一体となって始めることができればと考えています。ぜひ、みなさんもこの取り組みにご参画ください。

問合せ まちづくり政策課



西日本花きフラワーフェア

4月4日、アルザ泉大津1階のアトリウムで、泉大津花き地方卸売市場の管理・運営を行っている西日本花き(株)が、実際に取り扱っている花きなどの商品を、地元の方々に紹介し、花のある生活空間をライフスタイルに取り入れてもらうことを目的に展示会を開催しました。

訪れた市民らは、めずらしい花に驚いたり、取り扱われている商品の種類の多さに感心していました。

ホテルのベランダの巣で4年連続でハヤブサ産卵

3月10日、ホテルサンルート関空の高層階ベランダでハヤブサが今年も卵を産みました。

ハヤブサは、平成16年に初めてこのホテルで繁殖に成功。ビルでの繁殖の成功は、金沢市での事例に次いで、全国で2例目、また府内ではハヤブサの繁殖自体が初めてであり大変貴重な記録となりました。翌17年には4卵を産んで、抱卵をしていましたが、何らかのアクシデントで営巣が放棄されました。18年は、繁殖に成功し、4羽のヒナが巣立ちました。

そして今年も3月10日午前9時30分過ぎに第1卵が確認できました。昨年の第1卵確認が3月9日早朝でしたので、約1日遅れの記録となりました。

3月19日現在2個の卵が確認されており、メスとオスが交替で抱卵を続けています。約30日後の4月上旬には、かわいいヒナの誕生が期待されます。

